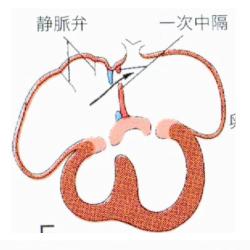
Stage 18 (internal form)

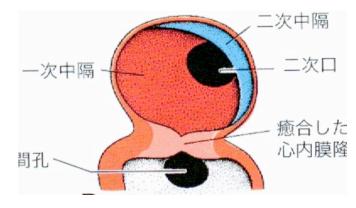
廣瀬あゆみ

Point

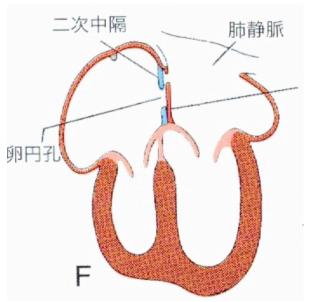
- ① 二次中隔と卵円孔が心臓でみられる
- ② 膜性心室中隔が形成されはじめる
- ③ 鼻鋤骨器官が溝として現れはじめる
- ④ 後鼻腔が発達する
- ⑤ 腎杯から集合管が発達する。
- ⑥ 男性の精腺では精巣索が現れ始める
- ⑦ 中腎傍管が下方向へ発達する
- ⑧ 1~3の半器官が現れる

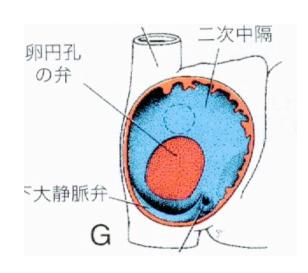
Heart(Point1)





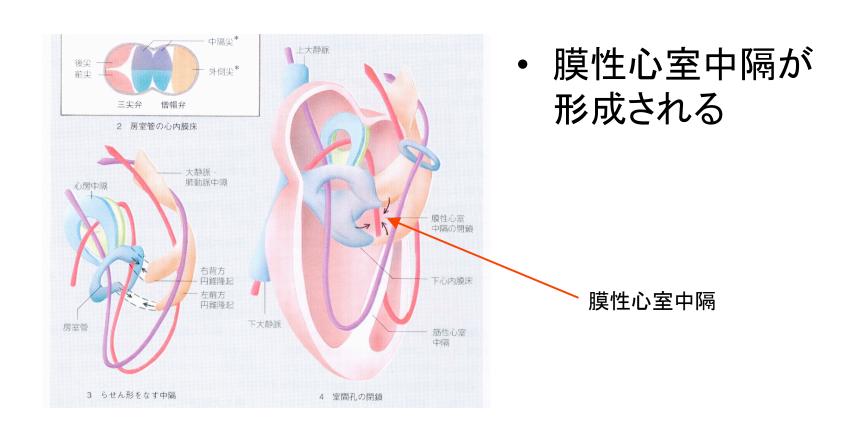
二次中隔 の形成



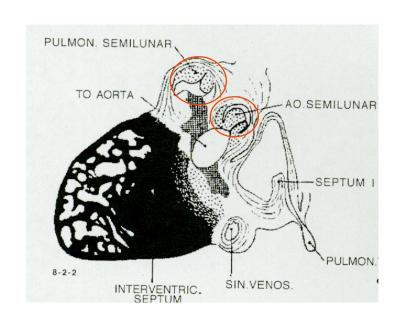


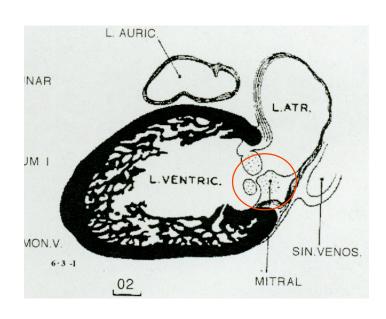
卵円孔の 形成

Heart(Point2)



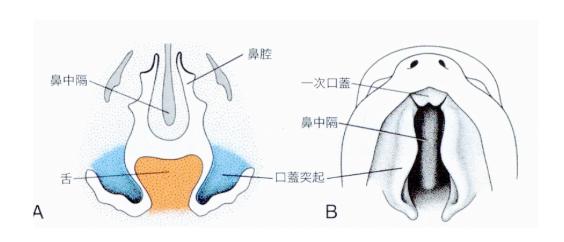
Heart



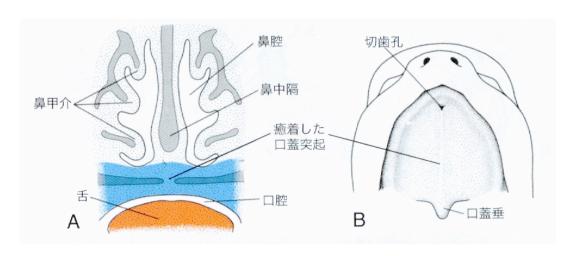


- ・ 半月弁の形成
- 三尖弁、僧帽弁は頂部がわかる程度

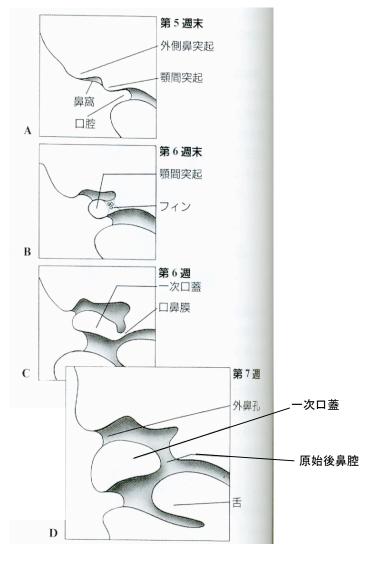
Nose(Point3)



鼻鋤骨器官の 出現



Nose(Point4)

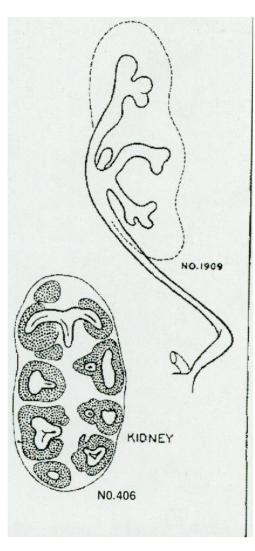


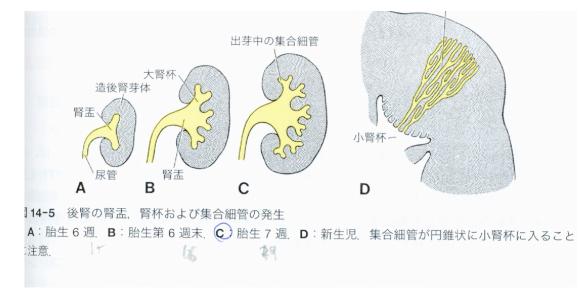
・ 鼻窩が後方に拡大 し、口腔に交通



鼻腔の形成

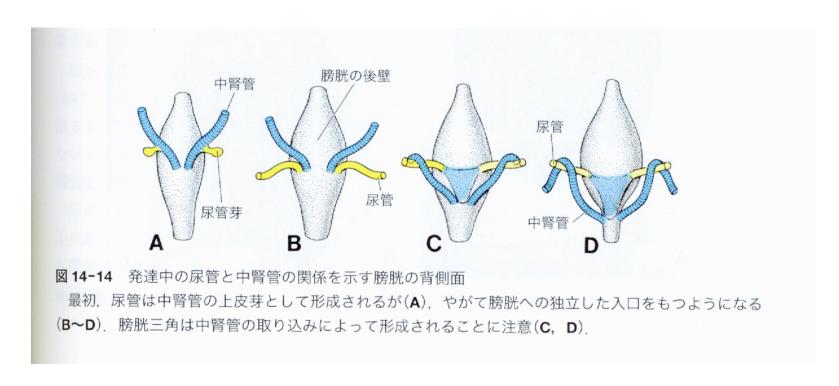
Urinary System(Point 5)





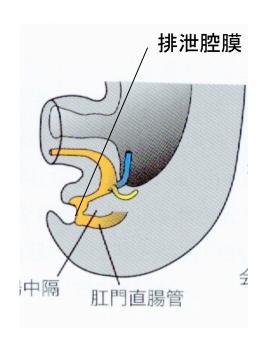
- ・ 集合管が発達
- 腎小体はまだ形成されていない

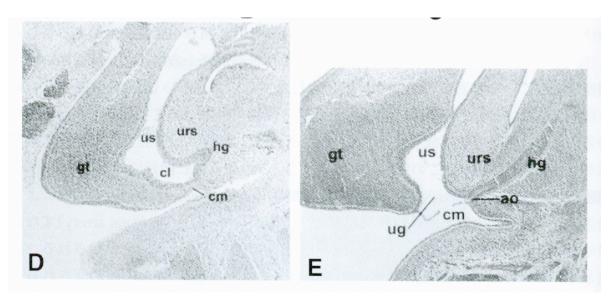
Urinary System



・ 中腎管と尿管が膀胱に開口

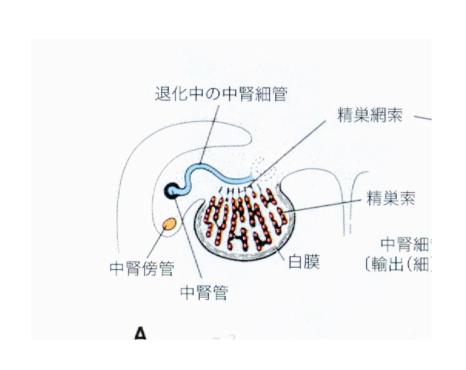
Urinary System





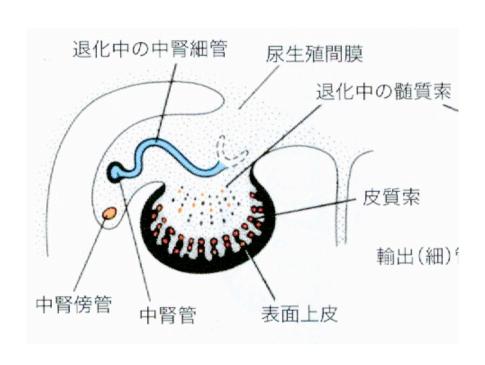
• 排泄腔膜が破れるものもある

Reproductive System(Point6)



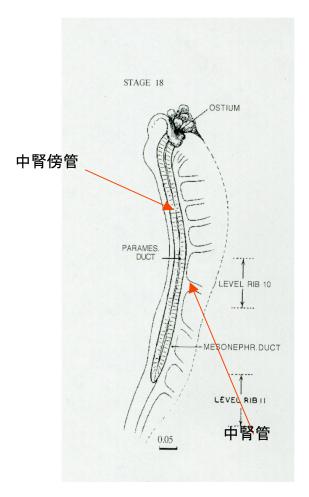
- ・ 精巣索が出現
- ・ 白膜により性腺が隆起する
- 生殖腺の表面が滑ら かになり、血管形成 がはじまる

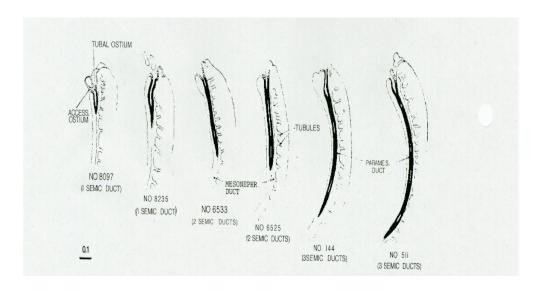
Reproductive System



卵巣で皮質索が 生じる

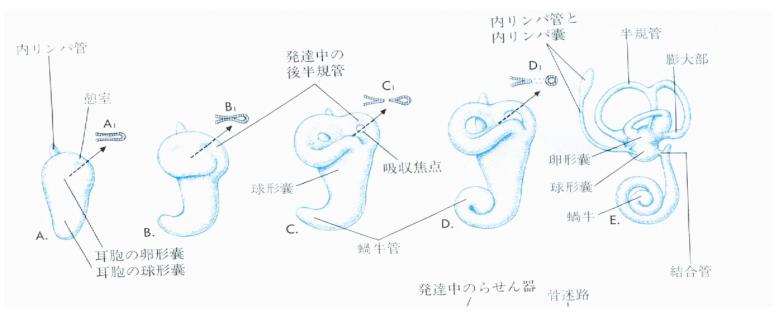
Reproductive System(Point 7)





中腎傍管が発達↓成長の指標になる

Ear(Point®)



- ・ 半器官が発達 前半器官→後半器官→外半器官
- ・蝸牛管はLの形

Ear

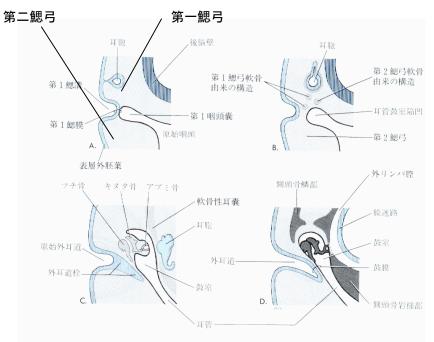
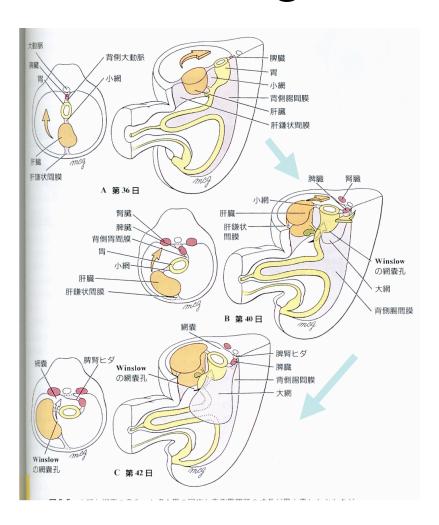


図 18-10 外耳と中耳の発達過程をあらわす模式図. A:第4 置. 耳胞と鰓性器官の位置関係を示している. B:第5 週. 耳管鼓室陥凹と鰓弓軟骨を示している。C:その後の時期. 耳管鼓室陥凹 (将来において鼓室と乳突洞になる) が耳小骨を包み始める。D:耳の発達の最終段階, 中耳の外リンパ腔と外耳道に対する位置関係を示している。

 第一鰓弓、第二鰓弓の 軟骨化 軟骨性の前駆体が凝集 軟骨内骨化 サプミ骨が判別可能

Digestive System

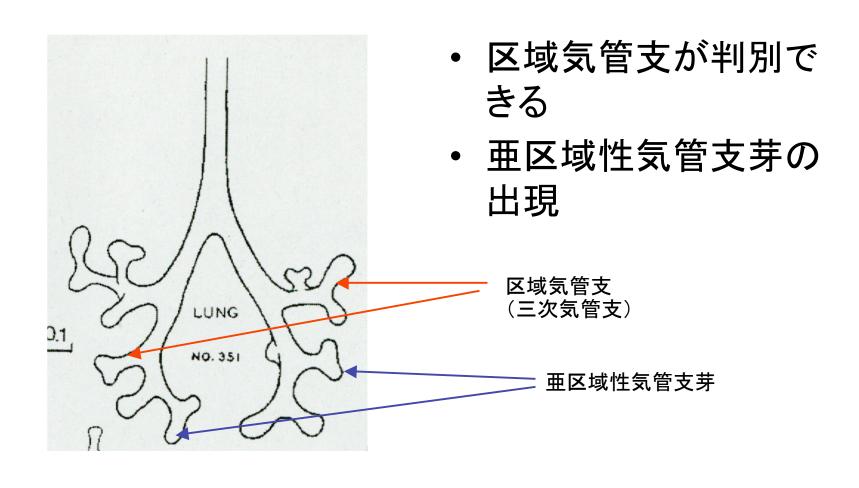


・ 食道の筋層と粘膜固有層がはっきりする

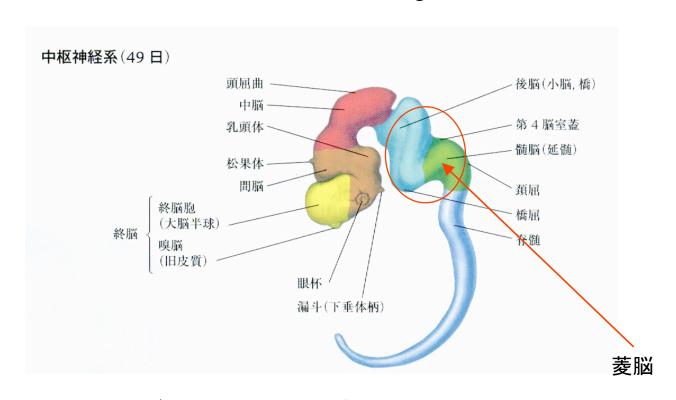
• 胃の基底層が発達

• 胃が回旋する

Respiratory System

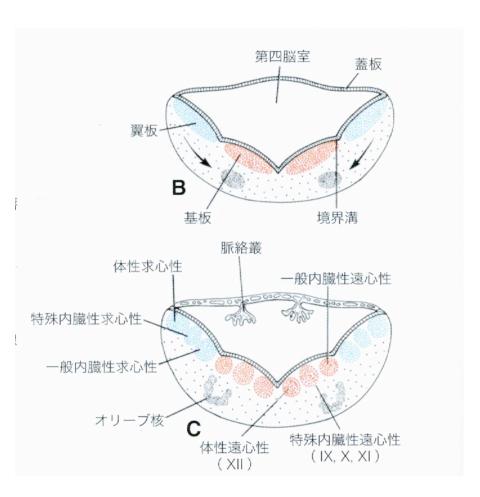


Nervous System

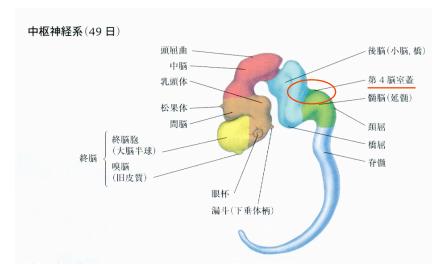


- 菱脳がもっとも発達している
- 成長は 運動核>神経核

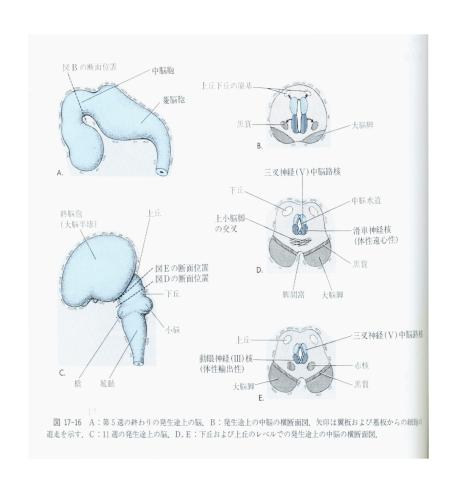
Hindbrain

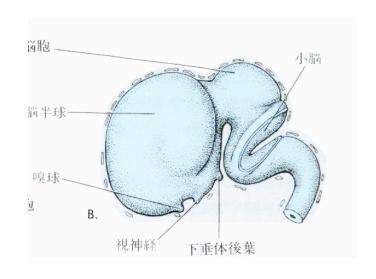


第4脳室の脈絡叢が 判別可能



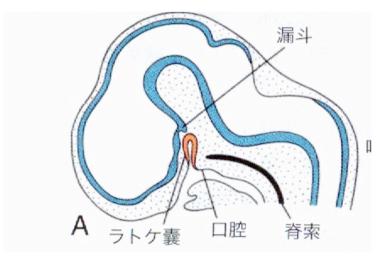
Midbrain

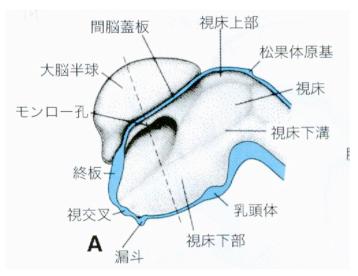




視覚野と聴覚野の隆 起がはっきりする(?)

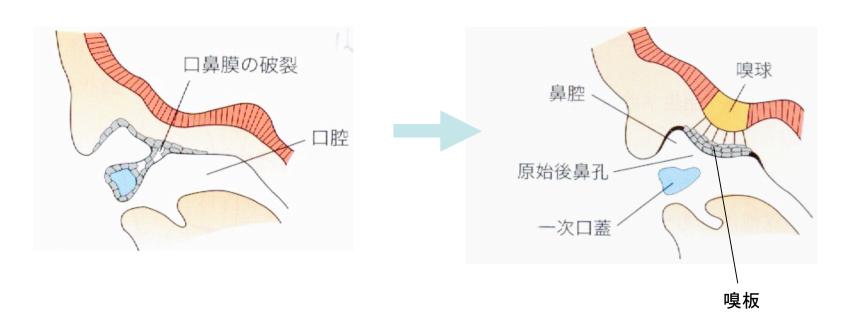
Diencephalon





- 下垂体
 - ①ラトケ嚢(下垂体前葉)
 - ②漏斗(下垂体後葉)
- ラトケ嚢が咽頭への連絡 を失う
- ・ 松果体が膨出

Olfactory Bulbs



- ・ 嗅球の発達
- 嗅球一嗅板間の連絡の確率